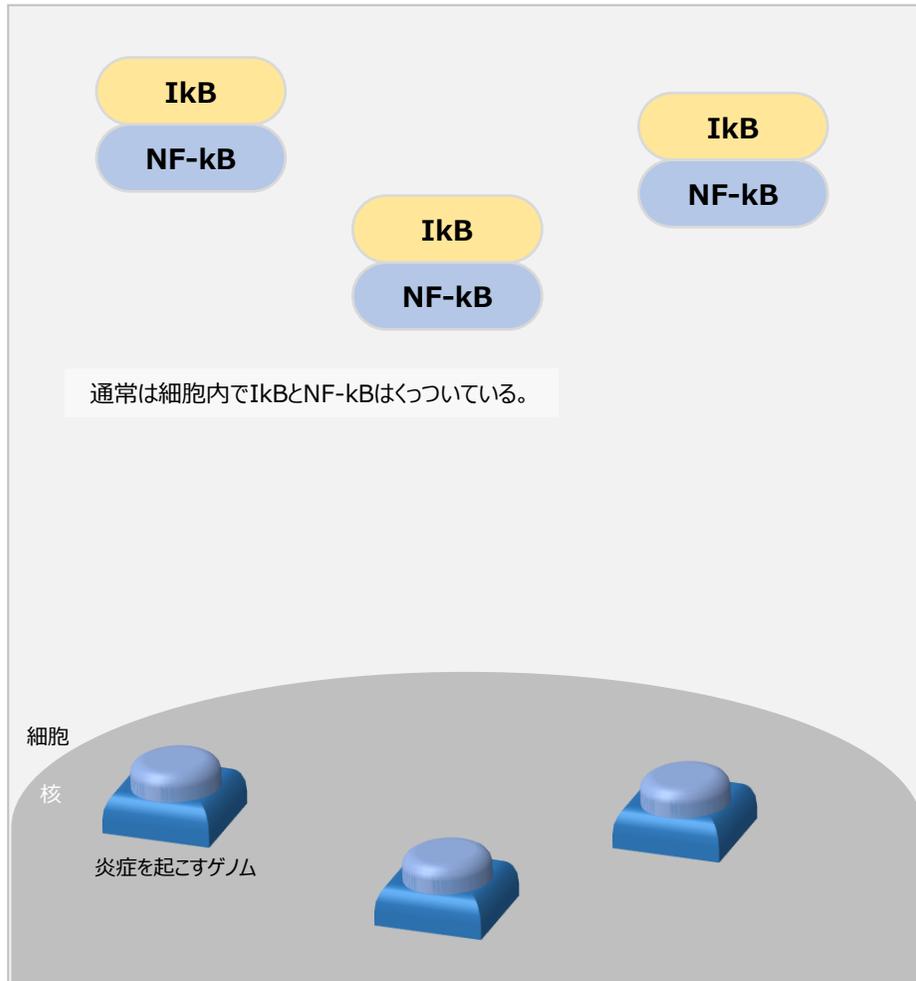


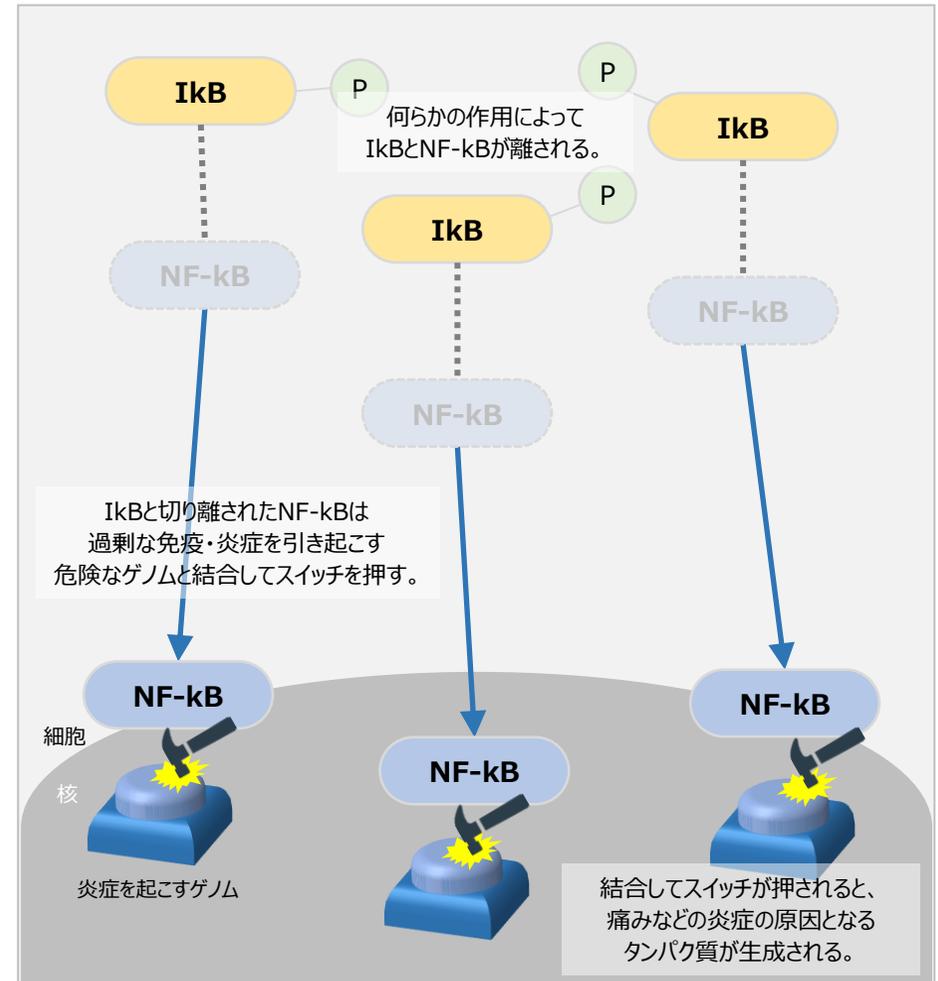
炎症が引き起こされるメカニズム

遺伝子が発現する際、転写因子と呼ばれるタンパク質（NF- κ B）がゲノムの特定の配列領域（炎症を起こすゲノム）に結合してスイッチが入ることによって痛みなどの炎症の原因となるタンパク質が生成されます。

平常時



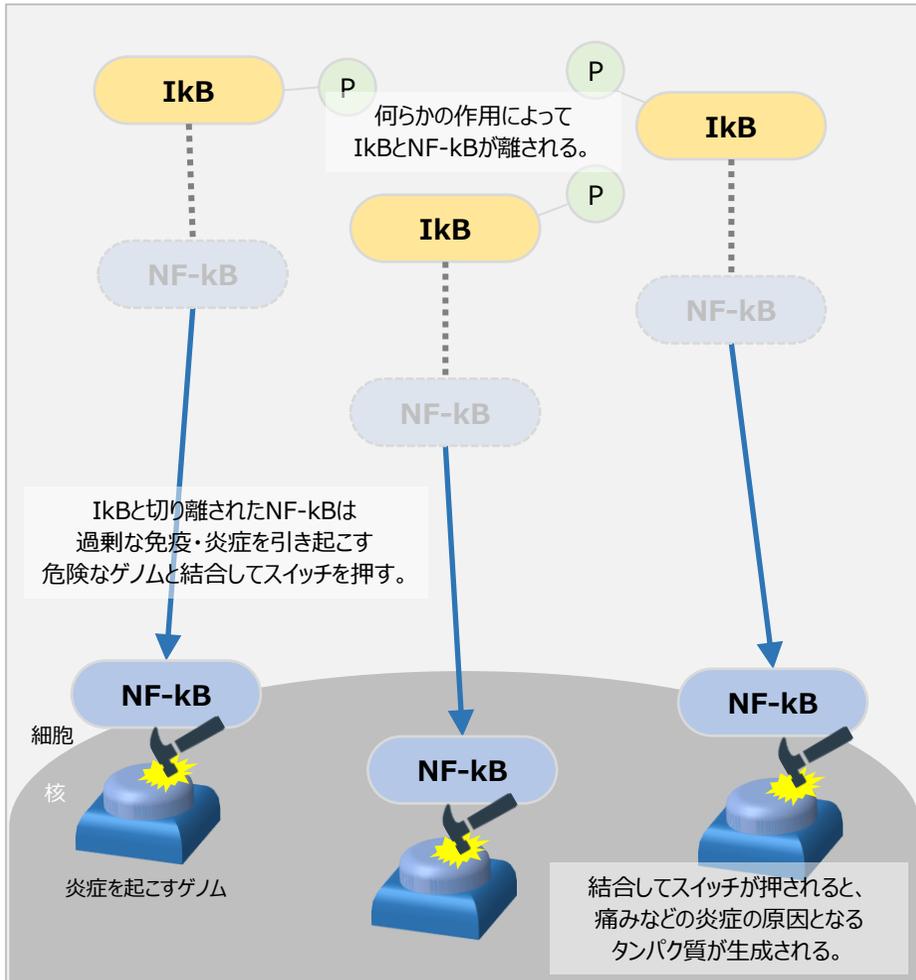
炎症時



NF-kBに対するデコイ「NF-kBデコイ」

「おとり」として「NF-kBデコイ」を人工的に設計し、体内に多数入れることによって転写因子「NF-kB」と炎症を起こすゲノムが過剰に結合されなくなります。そうすると、炎症が起きるゲノムのスイッチが押されにくくなり、痛みが出る遺伝子の発現が抑制されるので、結果として痛みを軽減することができます。

炎症時



NF-kBデコイを導入

